

令和4年3月大学等卒業予定者の就職内定状況調査（令和3年10月1日現在）

1. 調査内容

1) 調査経緯・目的

大学、短期大学、高等専門学校及び専修学校卒業者の就職内定の状況等について実態を把握し、就職問題に適切に対処するための参考資料を得るため、平成8年度から調査を実施。

2) 調査依頼先 設置者・地域の別等を考慮し、文部科学省・厚生労働省において抽出。

国立大学	21校	合計 112校
公立大学	3校	
私立大学	38校	
短期大学	20校	
高等専門学校	10校	
専修学校（専門課程）	20校	

3) 調査対象人員 6,250人

大学、短期大学、高等専門学校（※）	計 5,690人
専修学校（専門課程）	560人

（※）母集団の男女構成比から短期大学は女子学生のみ、高等専門学校は男子学生のみを抽出

4) 調査方法・内容

各大学等において、所定の調査対象学生を抽出した後、電話・面接等の方法により、性別、就職希望の有無、内定状況等につき調査を実施する。

5) 調査時期及び

発表時期	調査時期	発表時期
	令和3年10月1日	11月19日
	12月1日	1月中旬
	令和4年2月1日	3月中旬
	4月1日	5月中旬

2. 調査結果の主な概要

【全体の概要】

- 大学の就職内定率は71.2%（前年同期差+1.4ポイント）。このうち国公立大学の就職内定率は、69.2%（同▲2.7ポイント）、私立大学は、71.8%（同+2.7ポイント）。
- 短期大学の就職内定率は、33.5%（前年同期差+6.4ポイント）。
- 高等専門学校及び専修学校（専門課程）の就職内定率は、それぞれ87.1%（前年同期差▲6.7ポイント）、54.7%（同+9.2ポイント）。
- 大学等（大学、短期大学、高等専門学校）を合わせた就職内定率は68.1%（前年同期差+1.0ポイント）。専修学校（専門課程）を含めると66.8%（同+2.0ポイント）。

【男女別の概要】

- 男女別では、男子大学生の就職内定率は70.7%（前年同期差+1.9ポイント）、女子は71.7%（同+0.8ポイント）。また、国公立大学では、男子：68.4%、女子：70.1%、私立大学では、男子：71.4%、女子：72.2%となっている。

【文系・理系別の概要】※大学のみ

- 文系・理系別では、文系の就職内定率は70.8%（前年同期差+2.1ポイント）、理系の就職内定率は72.6%（同▲1.9ポイント）となっている。

【地域別の概要】※大学のみ

- 地域別では、関東地区の就職内定率が最も高く、77.6%（前年同期差+3.2ポイント）となっている。